

広報あじよる

10 2011
NO. 702



- 北海道放牧酪農ネットワーク交流会in足寄
- 敬老の秋
- オンネトー物語

2011 北海道放牧酪農 ネットワーク交流会 in 足寄

地球環境に優しい酪農畜産の推進を目的に放牧酪農を実践している酪農家などによる会議「2011 北海道放牧酪農ネットワーク交流会 in 足寄」が8月25日と26日の2日間にわたり開催され、町内外から延べ270人が参加しました。「放牧酪農における地域活性化」をテーマに参加者は講演やフィールド研修会を通しお互いの交流と情報交換を行いました。



また、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所の的場和弘さんが「放牧牛乳に対する消費者ニーズ」と題し、同研究所の石崎宏さんが「放牧による牛乳の高付加価値・ウシの健全性評価から見えてきたもの」と題し、それぞれ話されました。

その後のパネルディスカッションでは、石橋さ、的場さ、町内酪農家の本間隆さ（喜登牛）、株式会社明治の引地聖和さ、座長として酪農学園大学の荒木和秋教授の5人が登壇し、「消費低迷時代に挑む放牧酪農」をテーマに語り合いました。「酪農は日本全国で行われているが、北海道には大変恵まれた資源がある。その資源を有効に活用しなければ」との提言のほか、参加者からの質問や新規就農者へのアドバイスも行われました。

その後、町民センターを会場に歓迎交流会が行われ、参加者同士が交流を深めました。

今年からAコープあしよろで販売が始まった放牧牛乳「明治北海道牛乳 彩る季節」



説明をする吉川さん



発言する本間さん

2日目は吉川友二さ（茂喜登牛）の牧場でフィールド研修会を行い、参加者は牛や牧草、土の状態などを観察しました。

最後に参加者全員で記念撮影を行い、2日間の日程を終了しました。



本年度8回目を迎えた交流会の1日目は、あしよろ銀河ホール21を会場に、講演やパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、浜中町農業協同組合代表理事組合長の石橋榮紀さんが「放牧酪農による牛乳の付加価値と新規就農による地域活性化」と題し講演しました。



地域を守る農協に

石橋さは「浜中町内で生産された生乳は大手メーカーのアイスクリームや乳



石橋榮紀組合長

酸菌飲料の原料に使われており、これは生産者にとつての誇りとなっている。トレーサビリティ（生産履歴）管理や放牧宣言を行ったのも、BSE問題や生産資材の高騰など時代の変化をいち早く読み、対応したことが今につながっている」と話されました。また、酪農家の離農問題にも触れ「地元で後継者を育成するのは当然だが、新規就農者がいれば後継ぎのいない酪農家も安心して離農することができ、たとえ町外に出て行っても、消費者として地域のサポーターとなってくれる。また、新規就農者は地域に刺激を与え、地域のリーダーになっていくのも魅力。そのためには農協が地域にしっかりと根ざし、地域をどうするかを考えなくてはならない。地域づくりのネットワークをどう張り巡らすのが農協に課せられた課題」と訴えました。

新規就農を目指す研修生に お話を伺いました。



佐藤弘子さん（芽登）の牧場で研修中の北野紘平さん・明起さん夫妻

——今回の交流会に参加して、どのように感じましたか。

浜中町農協の石橋組合長の話に引き込まれました。特に、新規就農者が地域の柱になって活動しているのがすごいと思いました。また、農協が中心となって新規就農を推進していると聞き、身近にそのような町があったなんて驚きました。

——足寄で研修しようと思ったきっかけを教えてください。

大学時代の同級生が足寄で新規就農していて、彼に紹介してもらったのがきっかけです。

——将来の夢を聞かせてください。

将来は独立し、足寄の山で牛を飼いたいと思っています。それまで佐藤さんの牧場で経験を積み、知識を吸収したいです。

敬老の秋、いつまでも笑顔でお元気に

敬老の日（9月19日）にちなんで、
長寿を祝うさまざまな催しが行われました。

市街地敬老会

平成23年度市街地敬老会（町商工会
女性部主催）が9月16日に町民センタ
ーで開かれ、210人のお年寄りが参
加しました。

久保真知子部長が「今日は、皆さん
のこれまでの労をねぎらう会としたい。
東日本大震災や先日の台風被害など心
を痛める出来事が多いですが、このひ
とときを楽しんでください」とあいさ
つしました。参加者は、食事をしなが
ら足寄中学校吹奏楽部の演奏を楽しみ
ました。



楽しい老人のつどい

町と町社会福祉協議会（尾岸徳雄会
長）主催の第38回楽しい老人のつどい
「芸能発表会」が9月17日町民センタ
ーで行われ、お年寄りなど255人が
参加しました。

初めに「住んでよかったと思えるま
ちづくり」と題し、安久津勝彦町長に
よる講演が行われました。その後、芸
能発表が行われ、各老人クラブ会員23
組による歌や踊りが披露され、詰めか
けた観客から大きな拍手が起り、お
ひねりも飛んでいました。



白寿・米寿・喜寿

町では、白寿（99歳）、米寿（88歳）、
喜寿（77歳）を迎えた方に、お祝いとし
て町商工会商品券を贈っています。

白寿を迎えられた方



西東 きくさん（鷺府）



菊地トシヨさん（南6-5）

また、菊地さんと西東さんのほか、昨年
白寿を迎えた川上キクヨさん（上利別）
と熊坂丈三さん（郊南1丁目）の4人に
国から100歳の記念品が贈られまし
た。

まだまだ元気

本町最高齢の野中正造さん（茂足寄）
が、道内長寿者の男性の部で第10位（9
月13日公表）になりました。

自宅にお伺いし、話を聞きました。



正造さんは、
明治38年生
まれの10
6歳。最近
は、耳と足
が少し弱っ
たとのことですが、自宅の野中温泉別
館で元気に暮らしています。毎日、新
聞にも目を通し「世の中が良くなるの
か、悪くなるのかみている」と話され
ました。

また、長生きして楽しい思い出も多
い反面、辛いことも。息子（信郎さん）
を亡くしたのが一番悲しかった。

最後に長生きの秘訣を伺うと、「あ
まり考えないこと。バカは長生きする
から」とごまかされましたが、孫の祐
子さんは、「自立心がとても強く、自分
でできることは何でもする。年寄り扱
いされるのが嫌みたい」と話してくれ
ました。いつも感謝の気持ち忘れず
「ありがとう」が口癖。正造さんの優し
い表情が印象的でした。



オンネトー
フォトコンテスト
最優秀賞作品「朝靄」

2011 オンネトー物語

神秘の湖オンネトーを舞台に自然を
満喫するイベント、2011オンネト
ー物語（町、あしよろ観光協会、北海
道新聞社帯広支社主催）を9月25日、
オンネトー野営場で開催し、爽やかな
秋空の下、町内外から約2,000人
が訪れました。

会場にはオンネトーをテーマに撮影
された作品が展示され、来場者の目を
楽しませていました。オンネトーフォ
トコンテストには、町内外から195
点の応募があり、帯広市の伊藤建夫さ
んの「朝靄（あさもや）」が最優秀賞に
選ばれました。

オンネトー周辺で自然に親しむ『自
然ふれあい教室』は、雌阿寒岳登山や
オンネトー湖岸遊歩道、湯の滝遊歩道
の3コースが設定され、約80人が参加
し、樹木や花の説明を聞きながら、登
山や森林浴を楽しみました。

また、会場では農産物特売コーナ
ーが設けられたほか、豚汁や町内産のジ
ヤガイモやカボチャなども無料で振る
舞われるなど、多くの人が列を作り秋
の味覚を楽しんでいました。

オンネトーコンサートには、佐藤シ
ン（釧路市）とファンキーブラザーズ
（美幌町）が出演し、澄んだ歌声で
観客を魅了しました。



佐藤シン

ファンキーブラザーズ



8.20 子育てを考える

子育て支援・学習と交流の会「すくすく」10周年記念講演会が町民センターで開かれ「タマゴマンは中学生」の著者で詩画作家の坂本勤氏が講師を務めました。坂本氏は教員生活での経験から、子どもに対して「言う」と「伝える」との違いや心の中にある止める力など、分かりやすく説明されました。



8.25 健闘を誓う

全道・全国大会に出場する足寄中学校の生徒10人が町教育委員会を訪れ、加藤教育長に出場報告をしました。選手から「日ごろの練習の成果を発揮し、ベストを尽くしたい」など、力強い抱負が語られ、加藤教育長から「最高の状態でベストを尽くしてください」と激励されました。



9.3 練習の成果を披露

足寄保育園どんぐり（寺田幸子園長）の第5回運動会が総合体育館で開催されました。子どもたちは個人や団体競技、遊戯などを元気いっぱい披露し、応援に駆け付けた保護者などを楽しませていました。また、保護者リレー競技では、真剣に取り組むお父さんやお母さんの姿に子どもたちから大きな声援が飛んでいました。



安久津勝彦町長と握手を交わすイアンさん

前国際交流員のエバン・ブーイ氏の後任として、姉妹都市カナダ・ウエタスキウイン市から第10代目の国際交流員イアン・ラスカウスキー氏が9月1日に着任しました。
イアン氏は、同市出身の25歳で、2007年にアルバータ大学レクリエーションスポーツ観光学部を卒業後、障がい者施設でレクリエーション治療責任者として勤務していました。
「2001年に足寄町の中高生訪問



足小まつりに参加

団を受け入れたことがきっかけで、さまざまな国の文化の違いについて興味を持った。子どもたちにはカナダと日本の文化の違いを教えてあげ、また子どもたちから学びたい。空手や弓道、和太鼓にもぜひ挑戦したい」と抱負を語りました。
イアン氏は町教育委員会生涯学習室に配属され、小・中学校や保育園などでの英語指導等の国際交流事業を担当する予定です。

まちづくり活動支援補助金 採択事業2団体が決定！

町では、町民と行政との協働によるまちづくりを推進するため『まちづくり活動』を実施する団体に対し支援（事業費への補助）を行います。

7月、町民の皆さんの思いや気付きからはじまる創意工夫にあふれた『まちづくり活動』を募集したところ、3団体からの応募がありました。

9月8日、まちづくり活動支援補助金審査会（審査委員…町民代表5人）による審査の結果、次の2団体への補助金交付が決定しました。

団体名	あしよろ岐志会
事業名	森づくり研究事業
目的と概要	足寄町の豊富な森林資源を活用し、木材全般の有効活用を図るため、育苗・育林の研究のほか、加工技術や新技術の研究、知識の習得を目指します。
補助金の額	300,000円

2次募集を開始します！

申請書様式など詳しくは町ホームページをご覧ください。担当までご連絡ください。皆さんのアイデアをお待ちしています。

募集期間 10月31日(月)まで
補助金額 上限300,000円
申込先・詳細 役場総務課企画財政室
☎2512141 内線317

団体名	町おこし青年協力隊
事業名	町おこしチャリティープロレスin足寄
目的と概要	プロレスの魅力である「やられても、あきらめずに耐え抜いて、最後には逆転する根性や負けん気」から、町民に夢や希望を伝えるためプロレス団体による『チャリティープロレス』を開催し、町民の皆さんに元気を届けます。
補助金の額	300,000円



9.14 ゲートボールで交流

芽登小学校（松井敦子校長）が芽登ゲートボール同好会（佐藤テルエ会長）とゲートボール交流を行いました。子どもたちは会員からスティックさばきや攻め方などの手ほどきを受け楽しく交流しました。終了後には、子どもたちが同校の畑で育て、収穫したジャガイモなどを会員にプレゼントしました。



9.15 アトラクションを楽しむ

足寄小学校（若林三千磨校長）で「足小まつり」が開催され、足寄保育園どんぐりの園児や町内各小学校の児童などが訪れました。3年生から6年生の児童が入浴剤作りや折り紙教室などの工作コーナー、お化け屋敷や脱出ゲームなど趣向を凝らしたアトラクションで来場者や児童たちを楽しませていました。



9.23 力の入った取組

第5回足寄子供相撲大会（実行委員会主催、永井和弘委員長）が足寄神社境内常設土俵で開催されました。競技は幼児の花相撲、小学生のトーナメント戦と3人抜き戦が行われ町内外から131人が参加しました。子どもたちの力の入った取組に会場からたくさんの声援が飛んでいました。



9.24 町民水泳記録会

第17回足寄町民水泳記録会（町教育委員会主催）が町温水プールで開催され、小学1年生から一般までの54人が出場しました。競技は自由形やバタフライ、背泳ぎ、平泳ぎなどの14種目で行われました。選手は家族や友人から大きな声援を受け力強い泳ぎを披露し、22人がプール記録を更新しました。



9.8 普通救命講習会

足寄消防署（中島修一署長）が普通救命講習会を開催し、老人介護施設職員や一般町民などが参加しました。受講者は同署の救急隊員から三角巾を使った止血法、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法について説明を受けました。終了後には受講者全員に普通救命講習修了証が交付されました。



9.9 楽しく収穫

足寄保育園どんぐり（寺田幸子園長）の園児があしよろ子どもセンターに隣接している畑で野菜の収穫を行いました。土の中から大きなジャガイモなどが出てくると、子どもたちから「おっきい！」と歓声が上がっていました。収穫された野菜は、14日の収穫祭でカレーライスにしておいしく食べました。



9.10 家族連れでにぎわう

第5回子供まつり（町商工会青年部主催）があしよろ銀河ホール21のイベント広場で開かれ、たくさんの家族連れでにぎわいました。子どもたちは、金魚すくいや輪投げ、消防放水体験などを楽しみました。また同部員によるジャグリングショーも行われ、多彩な技を披露し、大きな拍手が送られていました。



9.10 音色に酔いしれる

バロックコンサート「古楽と古生物のハーモニーvol.3」が足寄動物化石博物館で開催されました。チェンバロ奏者の岩淵恵美子さんや町内でピアノ教室を開いている高橋友子さんなどが出演しました。同博物館のために書き下ろされた「特別な発見」（朗読）などが披露され、聴衆者は幻想的なひとときを楽しんでいました。

まちの健康だより

大からだげんき

今年の健診、今年のうちに！

皆さん、今年の健診は受診済みでしょうか？健診の必要性についてお話したときに、「毎年受けるもののなの？」「何か症状があれば受けようと思う」との声が多く聞かれます。本当に自覚症状がでてからで良いのでしょうか？健診結果によつては2年に1度で良いとされる検診（乳がん・子宮がん）もあります。多くは年1回の受診が適切です。今回は健診の心得についてご紹介します。

症状が出る前に受ける

今や国民の2人に1人はがんを発症する時代。また、糖尿病の診断は受けていない潜在患者は国民の3人に1人とも言われています。がんも生活習慣病も初期の

うちは自覚症状がないことが多いです。しかし、自覚症状のない早期のうちに見付けることができれば、治療によって完治や悪化を予防することができます。

定期的に受診する

「去年受けて異常がなかったし今後も異常が起らない」ということにはなりません。定期的な受診で経年的な変化を確認しましょう。

去年より体重が増えた・減ったといった小さな変化に気付くことも健康を維持する上では大切なことです。

検査結果が出たら

要再検査や要精密検査が必要との結果が出た場合、その結果を放置してしまつてはせ

つかく受けた健診も意味を成しません。要再検査や要精密検査という結果は必ずしも病気になることを意味するものではありません。今回の検査だけでは判断できないため詳しい検査が必要という場合もあります。

「たぶん大丈夫」と自己判断や放置をせず、決められた時期に必ず受診しましょう。12月に次の日程で各種がん検診・特定健診や肝炎ウイルス検査を実施します。現在申し込みを受け付けています。平成23年度の最後の集団健診ですので、この機会にぜひ受診してください。

詳細

役場福祉課保健推進担当

☎25-2571

内 容	検 査 内 容	対 象 者	料 金
特定健診	身体・腹囲計測	40歳以上の町国民健康保険加入者	無 料
国保・生保すこやか健診	診察・尿検査 血液検査	35～39歳の町国民健康保険加入者 40歳以上の生活保護受給者	無 料
胃がん検診	胃バリウムX線撮影	40歳以上	2,100円
肺がん検診	胸部X線撮影 ※喀痰検査（喫煙指数により希望の方）	40歳以上	X線 500円 喀痰 1,300円
大腸がん検診	便潜血反応検査（2日分）	40歳以上	700円
前立腺がん検査	血液検査	50歳以上の男性	1,795円
B型・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	35歳以上で過去に肝炎ウイルス検査を受けていない方	B型 300円 C型 500円 ※70歳以上無料
健診（検診）日 場 所 申 込 期 間 申 込 先	12月1日(木)・2日(金) 受付時間 午前7時～10時 時間毎の予約制 町民センター 11月1日(火)午後5時まで 役場福祉課保健推進担当 ☎25-2571 ※各予約時間に定員がありますので、お早めの申し込みをお勧めします。 ※全ての健診（検診）は、足寄町に住所を有する方が対象です。		



町民防災講座

第45回
東日本大震災から学ぶ
自然災害への備え

避難三原則

津波災害を幾度も繰り返し経験してきた釜石市では、教育委員会が防災の専門家である群馬大学の片田敏孝教授とその研究室の支援を受けて、平成17年度から防災教育に取り組んでいました。そこで徹底したのは①想定にとらわれない②状況下において最善を尽くす③率先避難者となる、という避難三原則を学び、訓練を繰り返すことでした。今年の3月、釜石東中学校と隣接する鵜住居小学校の児童・生徒と教員が巨大地震発生に際して取った避難三原則に沿う行動を紹介しつつ、そこから得られた教訓をお伝えします。

①想定にとらわれない

2つの学校は海岸から約1km、防災

マップに書かれた津波被災想定域のすぐ外にありました。小学校では地震発生後すぐに児童が校舎3階に集まり始めました。一方中学校では校庭に集合し始めた生徒たちに、教員が逃げると一声掛けると、生徒たちはあらかじめ避難所に決めてあった600m先の高台にある「グループホーム」の里に向かつて走り始めました。これを見た小学校の児童たちは校舎を出て、中学生の後を追いました。防災マップの想定にはとらわれず、自主的により安全な行動を選んだのです。

洪水・津波・噴火などに際して危険が及ぶ範囲を地図に示した防災マップが各地で次第に普及しています。足寄町が2000年に各家庭に配布した雌阿寒岳防災マップでは、噴火に際して土石流や火砕流等に覆われる可能性のある範囲を想定し示しています。しかし、噴火でも大雨でも地震でもその規模は小さきまで、いつでも想定通りになるわけではありません。まれに防災マップの想定規模を超えてしまうこともあり、想定にとらわれない、より安全を求めた行動が必要です。

②状況下において最前を尽くす

学校から避難した児童・生徒と教員はグループホーム裏の崖が余震で崩れ

るのを見て、400m上流の介護施設に向かい、最終的には更に500m先の石材店前まで避難しました。そこで校舎が津波にのみ込まれるのを皆が目撃しました。彼らはその時にできることのベストを尽くして生き延びたのです。

もしも災害が発生したらどうするか、普段からその手順を想定してマニュアルを作っておくことは、各家庭に限らず、多くの人が集まる学校や事業所でも必要です。そして日頃からマニュアルを使った訓練をして、緊急時の対応を身に付けましょう。しかし、マニュアル通りには事態が進まないのが自然災害です。いざというとき、現実に対応して最善を尽くす判断力が問われるのです。

③率先避難者となる

グループホームからは、児童・生徒の避難の列に鵜住居保育園の園児と保



育士やグループホームの入所者も合流しました。中学生は小学生や保育園児の避難を手助けしました。彼らは震災が起きたとき、迷わず日頃からの防災学習を実践に移し、総勢700人の人々を安全な場所に率先して誘導したのです。

自然災害から逃れる原則は1秒でも早く、1歩でも遠くへ危険な場所から逃れることです。この原則がうまく機能するためには、日頃からの学習が欠かせません。避難の際は周囲に声を掛け、各自が体力と知識に応じて災害弱者を支援することが求められるのです。

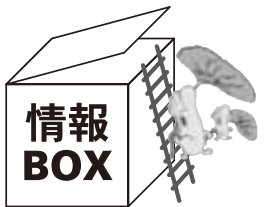
足寄町では

内陸に位置する足寄町では津波の心配はありません。しかし、町民の皆さんの多くが居住し農地や牧場として利用している足寄川や利別川沿いの平地は、大昔に発生した大規模な土石流が氾濫してできた大地です。ここで暮らしながら何が起こつても対応できるためには、日頃から学習と避難訓練を繰り返し、避難三原則に沿って命を守る技を身に付けておくことが大切です。（北海道大学名誉教授 宇井忠英）

詳細

役場総務課企画財政室

☎25-2141 内線311



お知らせ

今年も狩猟期間に入りました

道内には約65万頭（推定）のエゾシカが生息し、エゾシカによる農林業被害や交通事故が増加しており、私たちの生活に大きな影響を与えています。

今年は、例年より早い10月1日から道内（一部地域を除く）で狩猟が開始されています。

農作業や林内で作業される方、山登りや山菜採りなどを楽しまれる方が野山に入る場合には、目立つ服を着用するなど、十分に注意が必要です。

また、林道などを車両で走行する際には、安全運転を心掛けるようお願いします。

詳細 役場経済課林業商工観光室
☎25-2141内線242

ニコニコ体操の動画がYouTubeで配信開始

町民の健康づくり増進を目指し作成した町オリジナル体操「ニコニコ体操」がインターネット動画共有サービス『YouTube』で配信を開始しました。

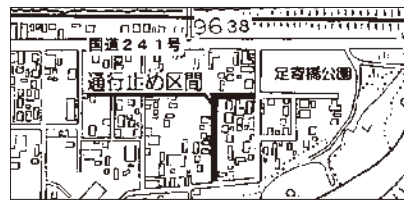
動画の内容は、無理なく笑顔が保てるペースの「基本編」、運動に慣れている方向けの「応用編」、どちらも取り組みたい方向けの「基本応用通し編」、そして足寄町の四季折々の風景と音楽がマッチした「歌と写真編」の4パターンを配信しています。

視聴方法はYouTubeのトップ画面から「足寄」「ニコニコ体操」のキーワードで検索すると表示されます。ぜひ、健康づくりにお役立てください。また、音楽CDや動画DVDも貸し出ししていますので、こちらもご利用ください。
詳細 役場福祉課保健推進担当
☎25-2571

通行規制のお知らせ

道路工事のため次のとおり通行止めを行います。なお、通行禁止区間であっても区域内住民のために必要と認められる交通は確保します。

工事箇所 北6条1丁目



工事期間

12月16日(金)まで
詳細 建設課建設室
☎25-2141内線374

町職員人事異動

(8月31日付退職者)
伊藤 理江
(国民健康保険病院看護師)



8月28日、第9回足寄町民ふれあいスポーツ大会が町内3カ所のパークゴルフ場と陸上競技場で開催され、約400人が参加しました。
大会は、パークゴルフの部(16地区・31チーム)とレクリエーションの部(9地区・9チーム)の合計点で争われ、それぞれ優勝を目指して熱戦を繰り広げました。



また、会場では各地区の応援団や小学生などを対象にした交流ゲームも行われ、玉入れやパン食い競争などで交流を深めていました。
成績 優勝…東区連合会
準優勝…西区連合会
3位…緑栄連合会

町民文芸

俳句

見たまま感じたまま

足寄凍土吟社

サングラス小女小悪魔ぶってみせ

吉田 哲子

読みさしのアンネの日記メロン切る

中田 京子

雨上り一気に始まる草むしり

湯浅 保子

今日と言ふ日はもうこない秋の雲

小川トミ子

盆太鼓邑をあげての踊りの輪

山岸 清子

訛りある音頭に一と夜踊りけり

上谷喜美子

バス路線白いさびたの花つづく

松野さわ子

サングラスはづして入る地下喫茶

小山田富美子

野の仏風を背にうけ花さびた

小山 博子

踊り手の輿に乗りたる夜更かな

坂本 夢乃

笑い初む初孫猛暑忘れさせ

高橋とし子

帯の背をばんと踊りの輪に入れる

古住 蛇骨

本別から

農大市

学生たちが授業で生産した野菜などを安価で販売します。

日時 10月22日(土) 開場：午前9時15分
販売開始：午前9時30分

場所 道立農業大学校
内容

ダイコン、ニンジン、ゴボウ、パレイショ、長イモ、玉ネギ、豆類、牛肉、農産物加工品等
詳細 道立農業大学校 ☎24-2121



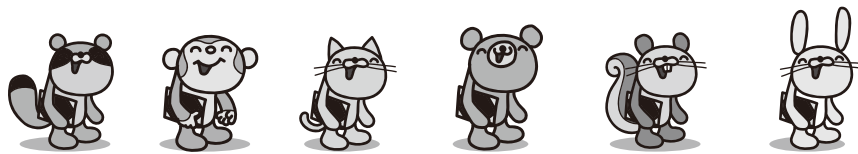
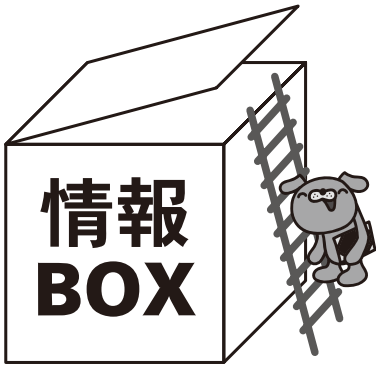
陸別から

「りくべつ鹿カレー」好評発売中！ ～美しい星空のもとで育った上質な鹿肉が とろける特製カレー～

陸別町内でとれた鹿肉を100%使用し、柔らかく煮込みレトルトカレーに仕上げました。
1箱1人前525円で道の駅「オーロラタウン93りくべつ」と銀河の森天文台で販売しています。ぜひ一度ご賞味ください。

詳細 陸別町振興公社
☎27-2012





募集

訪問看護師募集

本別地域訪問看護ステーションでは訪問看護師を募集しています。

募集資格

看護師または保健師として実務経験が3年以上であり、普通自動車運転免許を所持している方。

勤務時間

1日3－6時間の勤務で、勤務時間・曜日等は相談に応じます。

募集人数 若干名

給与 時給1,450円

休日

土・日曜日、祝日、年末年始

応募方法

電話連絡の上、履歴書を提出してください。

募集期限 10月31日(月)

詳細

(株)北海道総合在宅ケア事業団
本別地域訪問看護ステーション
☎22-9050

道障害者職業能力開発校 平成24年度入校生募集

道障害者職業能力開発校では、求職中の障がいのある方が就労に必要な知識・技能等を習得し、職業的自立を目指すための職業訓練を行っている道内唯一の施設です。

次の期間で、平成24年度入校生（訓練期間1年または2年間）を募集しています。就労希望の方はぜひご連絡ください。

募集期間 11月1日(火)－20日(日)

詳細

砂川市焼山60番地
道障害者職業能力開発校
☎0125-52-2774

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

募集種目	募集資格	受付期間	試験日
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒	平成24年4月1日 現在、15歳以上 17歳未満の方	11月1日－平成 24年1月6日	平成24年 1月14日

詳細 自衛隊帯広募集案内所 ☎0155-23-8718
自衛隊帯広地方協力本部ホームページアドレス
http://www.mod.go.jp/pco/obihiro

お知らせ

10月は土地月間です

国土利用計画法に基づき、乱開発や無秩序な土地利用を防止するため、一定面積以上の土地取引をした場合には、契約締結日（予約を含む）から起算して2週間以内に、町を経由して道知事に届け出が必要です。

土地を取得した方は速やかに届け出をお願いします。

届け出が必要な面積

- ・市街化区域
2,000平方メートル以上
- ・市街化区域を除く都市計画区域（市街化調整区域）
5,000平方メートル以上
- ・都市計画区域以外
10,000平方メートル以上

※個々の面積は小さくても権利取得者が取得する土地の合計面積が上記の面積以上となる場合も届け出が必要です。

※届け出が遅れたり、偽りの届け出をしたりすると法律により罰せられることがあります。

詳細 役場総務課企画調整担当

☎25-2141内線318

ヒグマ注意特別期間

9月10日－10月31日は秋の「ヒグマ注意特別期間」です。この時期は紅葉狩りやキノコ採りで野山に入る方が多く、ヒグマと出会う確率が高くなります。

特に今年は、ヒグマの出産数が多く、過去最高の出没件数になっており、町内でも多く目撃されています。

野山に入る前に

地元の市町村役場や土地管理者などにヒグマの出没情報を確認しましょう。

出会わない工夫を

出没が予想される野山にはなるべく出掛けないようにし、出掛ける時には集団での行動を心掛けましょう。また、鈴などの鳴り物を携行し、見通しの悪い場所では笛を吹くなど音を出す工夫をしましょう。

野山での飲食に注意

臭いの強い食料やジュース類はヒグマを引き寄せる場合があります。また、野山にごみを捨てたり埋めたりせずに必ず持ち帰るようにしましょう。

詳細 役場経済課林業商工観光室

☎25-2141内線242

町長とのふれあい 懇談会を開催します

地域の皆さんと一緒に、これからの魅力あるまちづくりを考える「町長とのふれあい懇談会」を町内4会場で開催します。地域の皆さんと町長が気軽に対話をする場です。協働のまちづくりの実現に向け、ご意見をお聞かせください。皆さんの参加をお待ちしています。

日時・場所

①10月27日(木)午後7時－

螺湾寿の家

②10月28日(金)午後7時－

芽登寿の家

③11月1日(火)午後7時－

町民センター

④11月2日(水)午後7時－

上利別寿の家

内容 本年度の主要施策「医療と介護、保健、福祉の連携システムの構築」について説明後、懇談を行います。

詳細 役場総務課広報広聴担当

☎25-2141内線334

家屋実地調査にご協力を

今年、家屋（車庫・物置を含む）を新築・増築・改築した方を対象に、家屋の実地調査を行っています。この調査は固定資産税の評価額を算定するために、家屋の間取りや使用素材を確認させていただくものです。また来年度の評価替えに向けて、家屋や土地の課税漏れや軽減措置の適用が正しくされているか固定資産評価補助員が実地調査を行っています。皆さんのご協力をお願いします。

詳細 役場住民課税務室課税担当

☎25-2141内線233

太陽光発電機器 導入助成について

町内に居住し、太陽光発電機器を導入される方を対象に助成を行っています。希望される方は事前に役場経済課までご連絡ください。※機器導入にかかる工事価格は、1kw当たり約60万円（屋根の傾斜や構造等により変動します）です。設置後は、北海道電力㈱の太陽光発電電力買い取り制度（1kw当たり42円・10年間固定）を利用することができます。

町助成額 1kw当たり5万円（上限4kw、20万円）

国助成金 1kw当たり4万8千円（上限10kw未満、約47万9千円）

申請時提出書類

住民票や納税証明書など

完成時提出書類

支払証明書（領収書）、電力会社系統連係証明書、完成写真（全景、内部機器類等）

申込期限

平成24年2月20日(月)まで

募集件数 10件（先着順）

申込先・詳細

役場経済課
☎25-2141内線250

必ずチェック 北海道最低賃金！

道内で事業を営む使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額705円

効力発生日 平成23年10月6日

詳細

帯広労働基準監督署

☎0155-22-8100

講演会「このまちで安心して 暮らし続けるために」 を開催します

日時 10月21日(金)

午後5時45分－8時

場所 あしよる銀河ホール21

講演1 「孤独を生まない地域・わがまちをめざして」

～厚生労働省老健局介護保険指導室長 千田 透きん

講演2 「地域包括ケアシステムって何だろう」

～厚生労働省老健局介護サービス調整官 東内京一きん

詳細

役場福祉課地域包括支援センター
☎25-9200

医療講演会を開催します

「あなたの検査値は大丈夫？～生活習慣病の正しい管理と予防」をテーマに講演会を開催します。ぜひご参加ください。

日時 10月31日(月)

午後6時30分－

場所 町民センター

講師 足寄町国民健康保険病院
村上英之院長

詳細 役場福祉課保健推進担当

☎25-2571

ふるさとの歴史を
振り返ってみませんか？

足寄百年史
(上・下巻・資料編)
好評発売中

ご購入は…役場総務課総務室
広報広聴担当まで

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室・広報広聴担当まで

渡邊 詩月^{しづくちゃん}

(平成21年10月4日生まれ)
最近はお話しも上手になり、
ママのまねをしてお手伝いも
してくれるようになりました。た
くさん遊んで、元気で優しい子
に育ってほしいです。

光規・愛実^{あみ}ちゃんの子
(旭町4丁目)



留田 そら^{ちゃん}

(平成21年10月22日生まれ)
喜怒哀楽を全身で表現するに
ぎやかさんです。ただ今、ジャ
ンプ、歌、まねっこ、に夢中で
す。♪あの青い空のように～素
敵な女性になってね。

邦彦・昌江^{あき}ちゃんの子
(螺湾)



日水 悠貴^{はるきちゃん}

(平成21年10月17日生まれ)
歌と踊りが大好きで、お兄ち
ゃんの後ろを走り回っています。
これからどんなふう to 成長して
いくのか、すごく楽しみです。
伸び伸び、元気良く育ってね。

直樹・祐希^{ゆうき}ちゃんの子
(旭町1丁目)

ひとのうごき

9月末の住民基本台帳

人 口	7, 7 0 5 人 (－9)
男	3, 7 3 8 人 (－2)
女	3, 9 6 7 人 (－7)
世 帯	3, 6 0 7 世帯 (－3)
	() 内は前月比

今月の表紙

9月9日に行われた園児による野菜の収穫
でのスナップです。

(⇒8ページ)

編集後記

☆いよいよ、10月29日(土)午後3時に
道東圏と道央圏を結ぶ「道東自動
車道夕張ICと占冠IC間(34.5
km)」が開通し、足寄町から札幌
までが1本につながります。

☆この開通により札幌帯広間で最大
30分時間短縮され、利用者も増え
ることと思います。

☆高速道路無料化社会実験が6月に
終了し高速料金もかかり、時間を
取るか、お金を取るか、悩むところ
です。

広報あしよろ10月号 No.702

発 行：足寄町

編 集：総務課総務室 ☎25-2141 内線334

〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1

<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>